

# ❖ プログラム ❖

## ◇ 第1会場 4F クレメントホール中 ◇

シンポジウム1 (8:00-9:35)

### 「癌進展・転移メカニズムの温故知新」

座長：馬場 秀夫 (熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学)

松原 久裕 (千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学)

特別発言：西山 正彦 (群馬大学医学系研究科 病態腫瘍薬理学)

- 《SY1-1》 食道扁平上皮癌における microRNA を介した FSCN1 分子経路の解明と治療感受性  
指定 千葉大学医学研究院 先端応用外科学 加野 将之
- 《SY1-2》 腫瘍間質に依存する diffuse type 胃癌浸潤の新しい分子機構の解明  
指定 熊本大学大学院 消化器外科学 石本 崇胤
- 《SY1-3》 胃癌腹膜播種特異的関連分子の発現、機能および5-FU 感受性への影響に関する検討  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 神田 光郎
- 《SY1-4》 消化器悪性腫瘍の肝転移におけるマイクロ RNA の関与  
浜松医科大学 外科学第二講座 菊池 寛利
- 《SY1-5》 大腸がん肝転移巣の腫瘍内ヘテロ不均一性と腫瘍特性の解析  
群馬大学医学系研究科 病態腫瘍薬理学分野 川端 麗香
- 《SY1-6》 BRAF 変異大腸癌の特徴～その特異なる転移形式と予後～1070例の解析から  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 永坂 岳司
- 《SY1-7》 胆管癌における Notch シグナルの癌幹細胞様細胞との関連性  
東北大学 消化器外科学 水間 正道
- 《SY1-8》 膵癌における FBXW7 発現と癌進展および抗癌剤感受性に与える影響  
群馬大学大学院 肝胆膵外科 石井 範洋
- 《SY1-9》 CK19陽性肝細胞癌の予後と分子生物学的特徴の検討  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 安井 和也
- 《SY1-10》 肝芽腫における化学療法抵抗性エピジェネティックマーカーの探求  
北海道大学大学院医学研究科 消化器外科学分野 I 湊 雅嗣

特別講演1 (9:40-10:30)

### 胃癌化学療法の最前線

演者：神奈川県立がんセンター 消化器外科 吉川 貴己

座長：前原 喜彦 (九州大学大学院 消化器・総合外科学)

[共催：日本イーライリリー株式会社]

## 特別講演 2 (10:35-11:25)

### 大腸がんの薬物療法(抗がん剤・分子標的薬)“新 ESMO consensus guidelines”をふまえて

演者：がん研有明病院 消化器化学療法科 山口 研成

座長：夏越 祥次 (鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科)

[共催：武田薬品工業株式会社]

## ランチオンセミナー 1 (11:40-12:30)

### 大腸癌治療ガイドライン改定のポイント

演者：九州大学病院 消化器・総合外科 沖 英次

座長：桑野 博行 (群馬大学大学院 病態総合外科学)

[共催：大鵬薬品工業株式会社]

## シンポジウム 2 (12:40-14:35)

### 「癌免疫の温故知新」

座長：遠藤 格 (横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学)

石岡 千加史 (東北大学 加齢医学研究所臨床腫瘍外科学分野)

特別発言：竹之下 誠一 (福島県立医科大学 先端臨床研究センター)

#### 《SY2-1》 がん免疫療法の歴史と現状

基調講演

川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍学 山口 佳之

#### 《SY2-2》 癌免疫療法の温故知新—既存薬のリポジショニングによる大腸がんに対する新規複合免疫・ペプチド療法の開発と展望

指定

山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学/山口大学医学部 先端がん治療開発学 裕 彰一

#### 《SY2-3》 消化器癌に対するがんワクチンの現状と展望

指定

和歌山県立医科大学 外科学第2講座 勝田 将裕

#### 《SY2-4》 食道癌 Stagella (T2N0, T3N) に対する術後樹状細胞ワクチン治療の第I相臨床試験の結果と展望

東京大学大学院医学系研究科・消化管外科学/

東京大学医学部附属病院・免疫細胞治療学 佐藤 靖祥

#### 《SY2-5》 Pertuzumab併用レジメンによるHER2陽性乳癌への化学療法におけるTILsのサブセット解析の検証

大阪市立大学大学院 腫瘍外科 高田 晃次

#### 《SY2-6》 自然免疫応答の賦活化による膵癌治療の新戦略

金沢大学附属病院 消化器・腫瘍・再生外科 宮下 知治

#### 《SY2-7》 胃所属リンパ節内の免疫環境に基づいた新規転移バイオマーカーの同定

大阪市立大学 腫瘍外科 田中 浩明

- 《SY2-8》 局所進行直腸癌における術前化学放射線療法の影響  
神戸大学 食道胃腸外科学 山下 公大
- 《SY2-9》 IL-6/STAT3シグナル経路を標的とした抗原提示細胞の機能制御による新規がん免疫治療の開発  
北海道大学 消化器外科1 大野 陽介
- 《SY2-10》 胃癌における免疫チェックポイント分子 B7-H3および B7-H4発現の臨床的意義と個別化治療への応用  
鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学 有上 貴明
- 《SY2-11》 癌性腹膜炎に対する癌免疫の挑戦  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域包括ケア教育センター 永田 康浩

### 特別講演 3 (14:40-15:30)

#### 切除不能膵癌に対する化学療法—実地診療の実情と今後の展望—

演者：国立病院機構四国がんセンター 臨床研究センター 石井 浩  
座長：海野 倫明 (東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野)  
[共催：株式会社ヤクルト本社]

### シンポジウム 3 (15:35-17:00)

#### 「感受性試験の温故知新」

座長：小寺 泰弘 (名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学)  
北川 雄光 (慶應義塾大学医学部 外科)

特別発言：桑野 博行 (群馬大学大学院 病態総合外科学)

- 《SY3-1》 当科における食道扁平上皮癌に対する化学放射線療法効果予測の試み—tumor-initiating cellマーカーを用いた予測は可能か—  
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科 村上 健太郎
- 《SY3-2》 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ効果が予測できる  
東京女子医科大学 消化器外科 有泉 俊一
- 《SY3-3》 大腸癌化学療法における抗癌剤感受性試験  
東京都保健医療公社 東部地域病院 外科 落合 匠
- 《SY3-4》 膵癌における薬剤感受性試験 (CD-DST 法) が示す傾向と今後の展望について  
東北大学 消化器外科 有明 恭平
- 《SY3-5》 乳癌に対する HDRA 検査の臨床的意義  
鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科 新田 吉陽
- 《SY3-6》 ex-vivo ドラッグスクリーニングを用いた BCL2の肝細胞癌発癌予防効果の検証  
熊本大学大学院 消化器外科 中川 茂樹
- 《SY3-7》 HER2陽性乳癌細胞株を用いた PIK3CA 変異による trastuzumab 耐性機構に関する 2 次元、3 次元培養の比較  
神戸大学大学院医学研究科 外科学講座食道胃腸外科学分野 多田羅 敬

《SY3-8》 ナノ粒子アルブミン結合パクリタキセル（アブラキサン）の抗腫瘍効果と SPARC 発現の関係—特に乳癌術前化学療法前向き臨床試験における検証—

岐阜大学医学部 腫瘍外科 二村 学

《SY3-9》 TFTD（TAS-102, ロンサーフ®）内服大腸癌症例における末梢血単核球への FTD 取り込み評価法の確立

九州大学大学院 消化器・総合外科 中西 良太

◇ 第2会場 4F クレメントホール東 ◇

一般口演・胃1（8:00—8:55）

座長：八木 淑之（徳島県立中央病院）

《O1-1》 術前化学療法にて組織学的完全奏効を得た進行胃癌の3例

徳島赤十字病院 松尾 祐太

《O1-2》 化学療法施行後に腹部大動脈周囲リンパ節郭清を伴う胃切除を施行した4例

藤田保健衛生大学病院 菊地 健司

《O1-3》 術前 prognostic nutrition index と胃癌根治的胃切除術後短期成績および長期予後との相関性に関する検討

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 三輪 高嗣

《O1-4》 当科における切除不能進行・再発胃癌に対する Ramucirumab の有用性と問題点

熊本大学大学院 消化器外科学 問端 輔

《O1-5》 進行再発胃癌に対する Paclitaxel+Ramucirumab 療法の経験

岐阜大学 腫瘍外科 棚橋 利行

《O1-6》 当科における切除不能進行再発胃癌に対するラムシルマブ療法の現状について

名古屋大学 消化器外科 小林 大介

《O1-7》 HER-2陰性の StageIV 胃癌に対する分割 DOC+CDDP+TS-1（DCS）療法の検討

獨協医科大学 第一外科 久保 僚

一般口演・大腸1（8:55—9:55）

座長：伊藤 壽記（大阪大学大学院 統合医療寄附講座）

《O2-1》 大腸癌肝転移に対する術前化学療法の効果とその予後

神戸大学大学院 食道胃腸外科 福岡 英志

《O2-2》 直腸癌術前補助療法における CD8+腫瘍浸潤リンパ球の意義

大阪市立大学大学院 腫瘍外科 松谷 慎治

《O2-3》 局所進行下部直腸癌に対する SOX+Bev regimen による多剤併用術前化学放射線療法

徳島大学 消化器・移植外科 柏原 秀也

《O2-4》 5-fluorouracil 耐性大腸癌細胞株における Heat shock protein 27発現

慶應義塾大学医学部 外科学教室一般・消化器外科 浅田 祐介

- 《O2-5》 ピリミジン合成経路に着目した FTD 耐性化メカニズムの検討  
九州大学大学院 消化器・総合外科 枝廣 圭太郎
- 《O2-6》 大腸癌細胞における intelectin-1 と TMEM207 の相互作用について  
岐阜大学 腫瘍外科学 前田 健一
- 《O2-7》 抗 EGFR 抗体投与後の皮膚 Exosomal miRNA の発現変化  
横浜市立大学大学院 がん総合医科学 徳久 元彦
- 《O2-8》 ハイリスク Stage II 大腸癌に対する術後補助療法と再発リスクファクターの検討  
東北大学 消化器外科学 大沼 忍

一般口演・食道・口腔（9：55－10：30）

座長：加藤 広行（獨協医科大学 第一外科）

- 《O3-1》 口腔癌の腫瘍体積による癌進展・転移メカニズムに関する研究  
愛知県がんセンター中央病院 頭頸部外科 鈴木 秀典
- 《O3-2》 食道癌における加療前好中球/リンパ球比（NLR）は Neoadjuvant chemotherapy（NAC）の効果予測マーカーとなり、予後予測因子となる  
熊本大学大学院 消化器外科学 中村 健一
- 《O3-3》 頸部食道癌に対する化学放射線治療の現状と治療成績  
群馬大学大学院 病態総合外科学 酒井 真
- 《O3-4》 進行食道癌におけるテーラーメイド個別化 NAC の可能性  
和歌山県立医科大学 第2外科 辻 俊明
- 《O3-5》 食道癌パネルを用いた食道扁平上皮癌症例の遺伝子変異解析  
岩手医科大学 外科 岩谷 岳

一般口演・肝胆膵1（10：30－11：25）

座長：武富 紹信（北海道大学大学院 消化器外科学分野 I）

- 《O4-1》 TACE 不能/不応肝細胞癌切除後残肝再発に対するシスプラチン動注+UFT 療法の治療成績  
北海道大学大学院医学研究科 消化器外科学分野1 若山 顕治
- 《O4-2》 ミラノ基準以内の肝細胞癌に対する術前リンパ球単球比（LMR）の再発予測因子としての検討  
北海道大学大学院 消化器外科学分野1 杉山 昂
- 《O4-3》 肝細胞癌における低酸素状態・Sphere 形成状態を制御する microRNA の解析と治療への展開  
九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学 吉田 佳弘
- 《O4-4》 腫瘍形成型肝内胆管癌における炎症因子と予後、炎症指標としての FDG-PET の有用性に関する検討  
群馬大学大学院 肝胆膵外科学 渡辺 亮
- 《O4-5》 肝内胆管癌における Heat shock factor 1（HSF1）発現の意義  
徳島大学 外科学 齋藤 裕
- 《O4-6》 再発胆管癌化学療法施行例における腫瘍浸潤間質細胞の臨床的意義  
熊本大学大学院 消化器外科学 北野 雄希

《O4-7》 末梢血Tr1細胞とFoxp3陽性調節性T細胞は消化器担癌状態におけるバイオマーカーとして有用である  
徳島大学 外科学 岩橋 衆一

ランチヨンセミナー 2 (11:40-12:30)

### 分子腫瘍マーカーを指標とする胃癌化学療法の考え方～TPを中心として～

演者：東邦大学外科学講座 一般・消化器外科学分野 島田 英昭

座長：今野 弘之 (浜松医科大学 外科学第二講座)

[共催：中外製薬株式会社]

一般口演・大腸 2 (12:40-13:40)

座長：沖津 宏 (徳島赤十字病院 消化器外科)

《O5-1》 切除不能・再発 GIST に対するイマチニブ長期投与の工夫とその成績—多施設 GIST 集積研究から—  
群馬大学外科診療センター 緒方 杏一

《O5-2》 術前化学療法を施行した直腸癌切除症例の検討  
熊本大学大学院 消化器外科学 大内 繭子

《O5-3》 局所進行下部直腸癌に対する術前補助化学療法としての SOX 療法の検討  
獨協医科大学 第一外科 志田 陽介

《O5-4》 大腸癌個別化治療にむけた1st ライン抗 EGFR 抗体薬の役割  
岐阜大学 腫瘍外科 松橋 延壽

《O5-5》 切除・不能進行・再発大腸癌における Ramucirumab (Rmab)+FOLFIRI の初期使用経験の検討  
長崎大学病院 移植・消化器外科 小林 和真

《O5-6》 進行再発大腸癌に対する CapeOX+ペバシズマブ療法における計画的オキサリプラチン間欠投与の有効性と安全性に関する検討；CCOG-0902試験  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 稲岡 健一

《O5-7》 進行再発大腸癌に対する予後予測因子として Two-dimensional response (2-DR) に関する検討  
名古屋大学医学部医学系研究科 消化器外科学 宇田 裕聡

《O5-8》 高齢者 (75歳以上) 大腸癌手術症例に対する術後補助化学療法の有効性に関する検討  
和歌山県立医科大学 第2外科 竹井 陽

一般口演・胃 2 (13:40-14:35)

座長：吉川 幸造 (徳島大学 外科)

《O6-1》 胃癌における k-sam 遺伝子の意義とその治療対象としての検討  
岐阜大学医学部 腫瘍外科 田尻下 敏弘

《O6-2》 Indoleamine 2, 3-dioxygenase (IDO) による胃癌再発機構  
徳島大学 消化器・移植外科 西 正暁

《O6-3》 糖代謝関連酵素阻害剤が胃癌細胞増殖に及ぼす影響の検討  
大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学教室 北山 紀州

- 《O6-4》 胃がん腹水中細胞を用いた CapeOX 療法による遺伝子変化の解析  
名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 前田 修
- 《O6-5》 胃癌腹膜播種症例に対する Paclitaxel 腹腔内投与の治療効果とモニタリング  
帝京大学医学部 外科学講座 熊田 宜真
- 《O6-6》 胃癌患者における血中循環腫瘍細胞（CTC）同定マーカーと臨床的意義の関連性の検討  
大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学 三木 友一朗
- 《O6-7》 特殊胃癌に発現する SALL4の意味  
昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科 根本 洋

一般口演・肺・乳腺・その他（14：35－15：40）

座長：吉田 卓弘（徳島大学 食道・乳腺甲状腺外科）

- 《O7-1》 FDG-PET による乳癌術前化学療法の治療効果判定の有用性  
東京医科歯科大学 乳腺外科 中川 剛士
- 《O7-2》 乳癌における ARID1A 発現異常と予後との関連性  
岐阜大学 腫瘍外科 鷹尾 千佳
- 《O7-3》 乳癌細胞株における Cyclophilin A の抗癌剤耐性獲得関連蛋白質としての検討  
大阪医科大学 乳腺・内分泌外科 藤岡 大也
- 《O7-4》 当科における HER2陽性乳癌に対する周術期 Trastuzumab 投与の検討  
九州大学大学院 消化器・総合外科 井上 有香
- 《O7-5》 HER2陰性進行再発乳癌に対する1次・2次治療でのエリブリンの安全性・有効性に関する第II相試験  
慶應義塾大学病院 一般・消化器外科 前田 日菜子
- 《O7-6》 小細胞肺癌切除例における PD-L1発現の意義の検討  
九州大学大学院 消化器・総合外科、九州大学病院 呼吸器外科(2) 豊川 剛二
- 《O7-7》 非小細胞肺癌非切除症例・術後再発症例に対する抗 PD-1抗体の効果に関する検討  
九州大学大学院 消化器・総合外科 原武 直紀
- 《O7-8》 pazopanib の組織型別悪性骨軟部腫瘍に対する有効性に関する後方視的解析  
東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野/東北大学病院腫瘍内科 山田 英晴
- 《O7-9》 子宮体癌における遺伝子変異サブタイプによる予後解析：術後化学療法適応および術後再発に対する検討  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学教室 原賀 順子

一般口演・肝胆膵2（15：40－17：00）

座長：調 憲（群馬大学大学院 肝胆膵外科）

- 《O8-1》 切除不能進行・再発膵癌に対する二次治療以降での Gemcitabine+nab-Paclitaxel 併用化学療法の使用経験  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 高見 秀樹
- 《O8-2》 膵癌二次治療における gemcitabine+nab-paclitaxel 療法の有効性・安全性の検証  
東北大学 消化器外科学 前田 晋平

- 《O8-3》 切除境界型膵癌に対する術前化学療法としての FIRINOX 療法の安全性、有効性、至適治療スケジュールに関する Pilot 試験  
和歌山県立医科大学 第2外科 北畑 裕司
- 《O8-4》 切除不能膵癌に対する術前化学療法後の Conversion surgery の成績と課題  
九州大学 消化器・総合外科 副島 雄二
- 《O8-5》 切除不能膵癌に対する長期化学放射線療法後切除の意義  
横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学 高橋 智昭
- 《O8-6》 主要動脈浸潤局所進行膵癌に対する GS 療法を用いた化学放射線療法の局所制御効果  
大阪市立大学大学院 腫瘍外科学 天野 良亮
- 《O8-7》 切除不能進行再発膵癌に対する化学療法症例における炎症性バイオマーカーの検討  
徳島市民病院 外科 荒川 悠佑
- 《O8-8》 膵癌における炎症細胞浸潤と PD-L1、HLA の発現に関する検討  
九州大学 消化器・総合外科 吉住 朋晴
- 《O8-9》 膵癌における Lysyl Oxidase-like protein 2発現に関する臨床病理学的意義の検討  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 田中 伸孟
- 《O8-10》 ヒト癌異種移植モデルにおける腫瘍溶解性単純ヘルペスウイルス HF10と既存化学療法薬との併用療法の検討  
名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 森本 大士
- 《O8-11》 膵神経内分泌腫瘍における Snail、E-cadherin 発現意義の検討  
鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科学 米盛 圭一

◇ 第3会場 4F クレメントホール西 ◇

ポスター・症例報告 (12:40-13:35)

- 座長：池本 哲也 (徳島大学 外科)
- 《P-1》 化学療法が奏功した食道神経内分泌腫瘍の1例  
岐阜大学 腫瘍外科 杉山 太郎
- 《P-2》 根治切除術を行い無再発生存中の食道原発悪性黒色腫の一例  
名古屋大学 消化器外科 岩田 直樹
- 《P-3》 術後長期生存が得られている進行 GIST の2例  
徳島県立中央病院 藤木 和也
- 《P-4》 肝動注療法により切除し得た巨大進行肝細胞癌の1例  
慶應義塾大学医学部 外科学教室 (一般・消化器) 益田 悠貴
- 《P-5》 化学療法で長期間制御できている透析中の S 状結腸癌術後肝転移の一例  
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学 渡邊 裕樹
- 《P-6》 同時性肝転移を伴った膵癌に対する集学的治療が奏功し長期生存中の1例  
福島県立医科大学附属病院 肝胆膵・移植外科学講座 加瀬 晃志
- 《P-7》 術前に modified FOLFIRINOX を施行後 R0切除し得た進行膵癌の1例  
岐阜大学 肝胆膵・がん集学的治療学 松井 聡
- 《P-8》 集学的治療が奏効した原発不明癌と診断された左後腹膜腫瘍の1例  
岐阜大学 腫瘍外科 末次 智成